

企画展

111年目の中原淳一

2024年4月20日(土)～6月17日(月)

島根県立石見美術館 (島根県芸術文化センター「グラントワ」内)

終戦からちょうど一年後の1946年8月15日、中原淳一(1913-1983)は自身が編集長を務める『それいゆ』を創刊すると、雑誌編集、イラストレーション、ファッション、インテリアなど、多くの領域を横断するマルチクリエイターと呼ぶべき多彩な仕事を手がけました。戦後直後の、見えない未来に光を灯すような思いで手がけた雑誌制作をはじめとする仕事の数々は、女性たちの圧倒的な支持を得、また後の時代のクリエイターにも大きな影響を与えていきます。

中原の生誕111周年を記念する本展では、『それいゆ』、『ひまわり』、『ジュニアそれいゆ』など、雑誌での編集の仕事を軸に雑誌付録、絵画、人形など、多彩なクリエイションの全貌を紹介します。戦後の混沌とした時代に「暮らし」という視点からさまざまな提案を行った中原の仕事は、先を見通すことが難しい現在においても、私たちに多くの気づきを与えるでしょう。

【みどころ】

[1] 中原淳一の膨大な仕事の全貌を紹介

総点数600点以上!昭和10年頃から戦中、戦後の仕事を、雑誌の仕事を中心に網羅し、多彩な仕事の全貌を辿ることができる中原淳一展の決定版です。

[2] 時代にあわせて変化する「理想の少女像」

西洋的で独特の魅力をもった中原の少女像は、戦前から戦中にかけて熱狂的に支持されました。戦後は『ひまわり』などで、時代を先取りする少女像を描きます。本展ではその原画を多数ご覧いただけます。

[3] 本展で初公開となる1950年代の貴重な洋服やきもの

1950年代に中原がデザインし、雑誌『それいゆ』などに掲載された洋服、きもの実物を展示。古さを感じさせないデザインが目まします。



屏絵原画『中原淳一ブラウス集』1955年



(左)『きものノ絵本』1940年
(右)表紙原画『それいゆ』第37号
1956年



緋のスカート
1957年



果物柄のアップリケのきもの
1954年

中原 淳一 (1913-1983)

香川県に生まれる。1926年に上京し絵画を学ぶ。1930年に上野広小路の高級洋品店のデザイナーとなる。1932年創作人形の個展を松屋銀座で開催。1935年『少女の友』の表紙絵を描く(以降1940年まで66回表紙絵を担当)。1946年女性誌『それいゆ』創刊。1947年少女雑誌『ひまわり』創刊。1951年から1年あまりパリに滞在。1954年『ジュニアそれいゆ』創刊。病に倒れ、1959年ごろから療養生活を送る。1970年『女の部屋』創刊。1983年療養先の千葉県館山市にて逝去。

【展示構成】

□ 1 新しい少女のために

戦前に発行されていた雑誌『少女の友』で中原の画家としての活躍が始まりました。西洋的で、大きな瞳と細長い手足をもった中原の「新しい少女」像は、現代のアイドルのように熱狂的に支持されました。そのエッセンスは、後の少女漫画にも大きな影響を与えます。

□ 2 美しい暮らしのために

ファッション、美容からインテリア、手芸、文学、音楽、美術に至るまで。中原は、「ほんとうの意味で美しい暮らしを知る本を作りたい」と、多様なコンテンツを雑誌『それいゆ』に盛り込みました。

□ 3 平和な時代の少女のために

戦争によって少女時代を奪われた女性たちのため、中原は1947年に雑誌『ひまわり』を創刊します。「よき女性の人生は、よき少女時代を送った人に与えられるものではないか」と情熱をもって作られた雑誌が、新しい時代の少女たちに夢を与えていきました。

□ 4 中原淳一の原点と人形制作

中原は少年時代、絵と読書、そして人形作りに強い関心をもっていました。10代のころにつくられた詩画集や油絵、デビューのきっかけとなった人形作品などそのキャリアの原点となった作品群と、生涯関心を寄せた人形に関する仕事を紹介します。

*掲載作品は全て個人蔵 ©JUNICHINAKAHARA/HIMAWARIYA

【関連プログラム】

本展監修者中原利加子さんによるオープニングギャラリートークや島根県出身のイラストレーターであるマツオヒロミさんによるスペシャルトークをはじめ、ゴールデンウィークに中庭広場などで開催するマルシェ、中原淳一の世界観を深く知るための劇場とのコラボ事業「ミュージア」を開催予定。

【主催】 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、朝日新聞社、日本海テレビ

【後援】 芸術文化とふれあう協議会

【協力/監修】 ひまわりや

【開館時間】 9:30～18:00 (入館は17:30まで) 【休館日】 毎週火曜日

【観覧料】 [企画展] 一般:1,000,(800)円、大学生:600(450)円、小中高生:300(250)円

[企画・コレクション展セット] 一般1,150(920)円、大学生700(530)円、小中高生:300(250)円

※()内は20名以上の団体料金

[前売券] 一般:900円(企画・コレクション展セット)

【問合せ先】 〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館

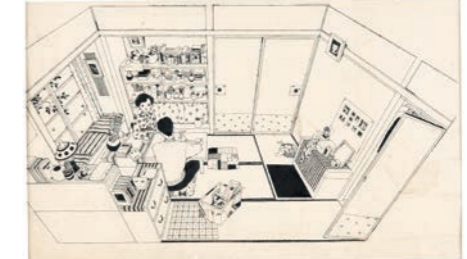
TEL 0856-31-1860 (グラントワ代表) FAX 0856-31-1884 <https://www.grandtoit.jp>

担当: [広報] 田原、中川 [学芸] 南目、川西

1

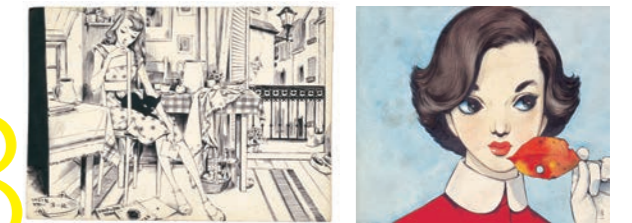


(左)ファッションブック『少女の友』第30巻第8号付録 1937年
(右)フラワーゲーム『少女の友』第31巻第1号付録 1938年



「ふたりはこんな部屋に住む」(『それいゆ』第14号原画) 1950年

3



(左)屋根裏部屋の少女(『ひまわり』第5巻第9号原画) 1951年
(右)表紙原画『ジュニアそれいゆ』第6号 1955年



(左)「手藝の本」『少女の友』第30巻第3号付録 1937年
(右)人形 1967年

4